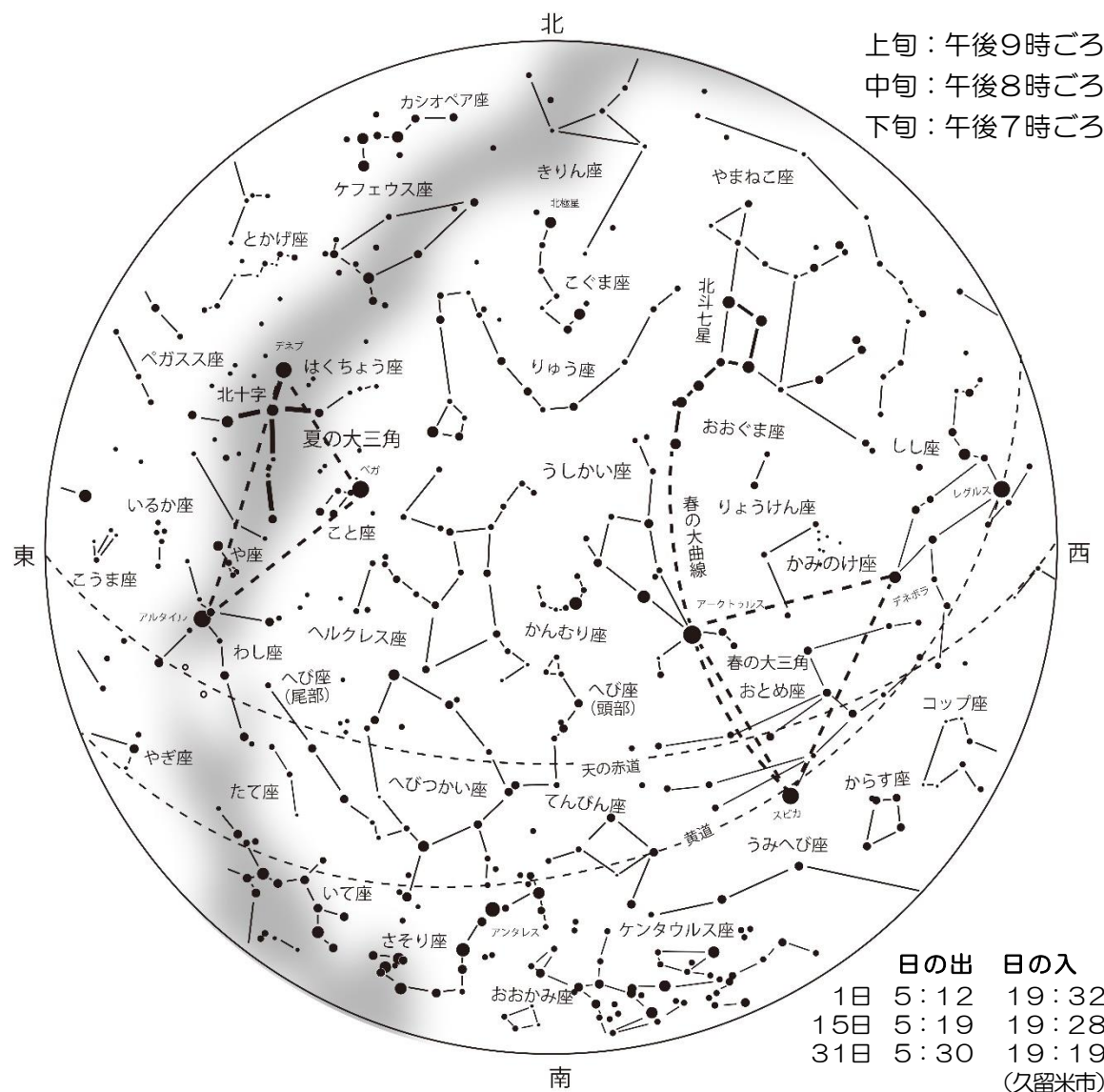


# 令和4年 7月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ  
中旬：午後8時ごろ  
下旬：午後7時ごろ

## ★7月の星空案内

今月は東の空に見え始めた夏の星座、西の空には見頃を終えようとしている春の星座を見ることができます。春の星座を探す目印となるのは**アークトゥルス**、**スピカ**、**デネボラ**を結んでできる『春の大三角』です。春の大三角で最も明るい星がアークトゥルスで、アークトゥルスからネクタイのような星の並びが目印となる星座が**うしかい座**です。春の大三角で2番目に明るい星がスピカで、スピカからアルファベットのYの字のような星の並びが目印になる星座が**おとめ座**です。そして春の大三角で最も暗い星がデネボラで、デネボラを目印にして見付けることができる星座が**しし座**です。

夏の星座を探す目印となるのは、**ベガ**、**アルタイル**、**デネブ**を結んでできる『夏の大三角』です。夏の大三角で最も明るい星がベガで、ベガとその近くに見える小さな平行四辺形が目印となる星座が**こと座**です。夏の大三角で2番目に明るい星がアルタイルで、アルタイルとアルタイルを挟んだ2つの星が目印となる星座が**わし座**です。そして夏の大三角で最も暗い星がデネブで、デネブからきれいな十字の星の並び、「北十字」が目印になるのが**はくちょう座**です。

今月は2つの大三角の星の明るさをたよりに、見え始めた夏の星座たちと見頃を終えようとしている春の星座たちを探してみてくださいはいかがでしょうか。

### 【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| ☆水星(-1.4等前後)：おうし座→かに付近   | 日の出前、東の低空で輝く。(上旬～中旬) |
| ☆金星(-3.9等前後)：おうし座→ふたご座付近 | 日の出前、東の空でひととき明るく輝く。  |
| ☆火星(0.3等前後)：うお座→おひつじ座付近  | 日の出前、東南東の空で輝く。       |
| ☆木星(-2.6等前後)：くじら座付近      | 日の出前、南東の空で明るく輝く。     |
| ☆土星(0.5等前後)：やぎ座付近        | 午後11時頃、南東の空で輝く。      |

### 注目の天文現象(7月) ～月の大きさに注目して月の満ち欠けを楽しもう!～

6月29日に新月を迎えた月が、徐々に満ちていき、7月14日に満月を迎えます。その後、徐々に欠けていき、7月29日に再び新月を迎えます。このように月は約29.5日周期で満ち欠けをしていきます。月は肉眼で満ち欠けを楽しむことのできる唯一の天体ですので、日ごとに変化する月の形を楽しんでみて下さい。また、地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしており、地球と月の距離は一定ではありません。そのため同じ満月でも、視直径が変化します。7月14日の満月は、今年もっとも地球に近い満月で、1月18日の地球からもっとも遠かった月と比べて、視直径が約11%、面積が約21%大きくなっています。実際の夜空で月を2つ並べて観察することはできませんので、月を見たときに大きさの変化に気付くことは難しいかもしれません。大きさの変化を楽しみたい場合は、同じカメラ、同じ画角のレンズで、写真を撮り比較してみることをお勧めします。今年、7月14日以降で満月となる日は、8月12日、9月10日、10月10日、11月8日、12月8日です。

ぜひ、今年月の満ち欠けと共に、満月の大きさに注目し、写真を撮りながら月を観察してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
7	木	☾ 上弦 (11:14)	20	水	☾ 下弦 (23:19)
14	木	☉ 満月 (03:38)	29	金	☉ 新月 (02:55)